

## IMFC 会議

### IMF 加盟国、回復の動き及び ガバナンス改革を支援



IMF サーベイ・オンライン  
2009 年 10 月 4 日

IMFC 会議で、エジプト財務相のユーセフ・ブトロス・ガリ IMF 委員長と話すストロスカーン専務理事(左)  
(写真:IMF)

- IMFC、国際通貨基金のガバナンス改革を支持
- 新たな役割を反映するよう IMF の権限の見直しを要請
- 加盟国は「信用の回復・失われた雇用の回復」を行う用意があると表明

世界経済が回復に向かっているなか、国際通貨基金 (IMF) の政策諮問機関である国際通貨金融委員会 (IMFC) がイスタンブールで会合を開催し、世界経済の回復が確実になるまで刺激策を継続することを表明すると共に、IMF 加盟国の代表権の改革に向けた動きを支持した。現在 IMF には 186 カ国が加盟している。

世界経済が回復に向かっているなか、IMF の政策諮問機関である IMFC がイスタンブールで会合を開催し、世界経済の回復が確実になるまで刺激策を継続することを表明すると共に、活発な経済活動を見せる新興市場並びに途上国の発言権の拡大に向けた、IMF のガバナンス改革の実現への動きを支持した。

エジプトのユーセフ・ブトロス・ガリ財務相が委員長を務める IMFC は [声明](#) のなかで、IMF 加盟国は、「信用の回復、雇用の創出、貧困削減の後退から脱却」するための取り組みを更に進める用意があると述べた。

24 名からなる IMFC は、既に合意済みの金融部門改革並びに規制改革をただちに実施すべきだと主張した。また世界経済における IMF のさらに中心的な役割を反映した、より包括的な権限を新たに取りまとめるよう IMF に要請した。

## G20 のプランを支持

IMFC の会合は、トルコのイスタンブールで開かれている IMF と世界銀行の年次総会の一環として、[9月25日にピッツバーグ](#)で行われた先進・新興市場国 20 カ国・地域 (G20) 首脳会議の直後に開催された。

G20 の首脳たちは、IMF 加盟国の代表権を活発な経済活動を見せる新興市場並びに途上国に少なくとも5%移行させるという案に対し、政治的支援を表明した。また、G20 では、世界経済危機に対処するために強固な政策措置を継続することも約束された。

こうしたG20の決定に基づいてIMFCは、各国の政策がより持続可能で均衡がとれた世界経済の成長と集合的に整合的かを評価するための前向きな分析を整備し、G20が既に合意している各国経済の相互評価の実施を支援するよう、IMFに要請した。

ドミニク・ストロスカールIMF専務理事は、一連の会議は金融危機後の世界を形成する貴重な機会となったと述べた。さらに同氏は、各国が金融危機に備えて過剰な外貨準備金を積み増し、独自に「自己保険」を用意しなくても済むよう、IMFが準備金のプールを提供するという案を提示するなど、IMFは世界の最後の貸し手となるべきだという考えを明らかにした。

融資制度を拡大する必要性の有無や、この方法によって、適切な予防手段を維持しつつ自己保険に代わる信用できる手段を提供できるかどうかについて、IMFは検討すべきだとIMFCは述べた。「同時に我々は、長期的な世界の安定と国際通貨制度の適切な機能を促進するその他の政策オプションについて検討するようIMFに求める」

## IMFの権限及びガバナンス改革

「世界の(経済)政策の仲介役としての機能」をIMFに持たせるためのIMFの改革についてIMFCが討議したと、ブトロス・ガリー委員長が明らかにした。

今回の危機との戦いにおいてIMFは中心的役割を果たしてきた。現在のIMFのより中心的な役割に対応するためIMFは以下を実施することによって発展する必要がある：

- 世界経済におけるIMFの役割を正式に承認し、IMFの新たな権限を策定する
- IMFの正当性と有効性を高めるため、ガバナンス改革を進める

IMFCは、世界の安定にかかわるマクロ経済と金融部門のあらゆる政策の見直しを実行し、次回の年次総会までにIMFCに報告するようIMFに要請した。

G20と同様にIMFCは、IMFは世界経済における加盟国の相対的な規模を反映したクォータ(出資割当額)ベースの組織であり続けるべきでだと述べた。

IMFCは、こうした相対的地位が近年大幅に変化したことを認め、経済活動が活発な新興市場並びに途上国への代表権移行について2011年1月までに合意する案を支持した。G20は過大評価されている国から過小評価されている国へ5%移行することを提案した。ストロスカーク専務理事は、2008年に合意された先のクォータ改革と合わせると、最終的に7.7%相当の移行となるであろうと述べた。

IMFCが取り上げたその他の問題:

- **金融セクターのより厳格な調査:**IMFCはIMFに対して、金融セクター評価プログラム(FSAP)の新しい柔軟な枠組みの導入に早急に着手するよう求めた。またFSAPがより厳格なマクロ・金融のサーベイランス(政策監視)を行えるようにすると共に、国別サーベイランスへより効果的に組み込まれるよう求めた。
- **サーベイランスの強化:**「我々はクロスカントリー、地域別、マルチラテラルのサーベイランスのさらなる強化を奨励し、IMFの透明性に関する政策の見直しと強化を期待する。また我々は最新の『サーベイランス優先項目』を承認すると共に、加盟国がIMFと協力してこの目標達成に向け取り組むよう要請する」
- **早期警戒演習:**IMFCは、IMFの世界経済の潜在的な脆弱性を評価する方法を確認した。「早期警戒演習の構想は、危機を予知するものではない。実際は、グローバル・システムにおけるストレスを、多国間の枠組みにおいて評価するものだ」と、ジョン・リップスキー筆頭副専務理事は述べた。

- **IMFの財源強化:** IMFへの一時的な出資を約束した加盟国に、IMFCは感謝の意を表明した。この出資によって、危機に対応するための融資財源が3倍以上に強化された。新たに5,000億ドル以上拡大され、柔軟化された新規借入取極に関する合意が今後見込まれるが、IMFCはこれを歓迎する。
- **過剰な外貨準備金の積み増しを抑制:** IMFCは金融事項に関連する変動を含む国際収支上の問題に対処する加盟国へのIMFの支援能力を引き続き強化し、加盟国の過剰な外貨準備金の積み増しが必要であるという認識を減らすべきだと述べた。IMFCは、フレキシブル・クレジットライン(FCL)の成功を含む今後の融資におけるIMFの役割について、次回の年次総会で報告するようIMFに求めた。

本稿に関するご意見は、[imfsurvey@imf.org](mailto:imfsurvey@imf.org) まで。